

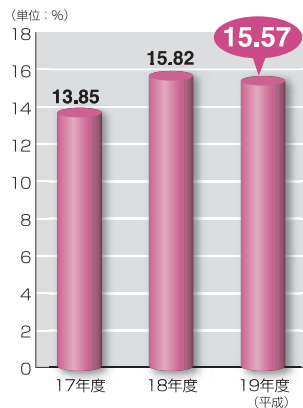
## 自己資本の充実状況

**にしん**が、創業以来積み上げてきた利益金と、会員の皆様からの出資金の合計額が自己資本です。「自己資本比率」はリスク・アセット(総資産のうち、万一の場合に貸し倒れの可能性がある資産)に対し、自己資本がどれくらいあるかを示す指標のことです。従って一般的には、この比率が高いほど不測への備えが厚く健全性も高いと言えます。信用金庫など国内だけで営業している金融機関に適用される国内基準は4%以上で、大手銀行など海外でも営業している金融機関は国際基準で8%以上となっています

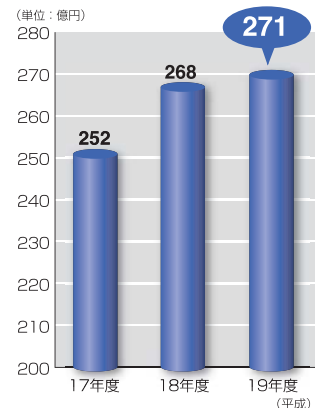
さて、**にしん**の自己資本比率は  
**15.57%!**  
国内基準を大きく上回る水準で健全性を維持しております。

また、自己資本額も**271億円**となり、自己資本の充実が図られました。

■自己資本比率



■自己資本額



## 不良債権残高・比率の状況

貸出金等の元本や利息が取引先の事情により決められた期日に戻ってこない場合及び、その危険性が高い場合、それを不良債権といいます。

**にしん**では保有する資産(貸出金等)について厳格な基準による自己査定を行い、その結果に基づいて不良債権を「リスク管理債権」および「金融再生法に基づく開示債権」として開示しております。

さて、**にしん**のリスク管理債権の比率は  
**5.83%と低い。**

リスク管理債権額は**112億円**、  
リスク管理債権の保全率は**91.21%。**

特に危険度の高い  
破綻先債権、延滞債権の保全率は**95.42%**

自己査定基準	金融再生法	リスク管理債権	保全状況
破 綻 先	破産更生債権及びこれらに準ずる債権(3,957百万円)	破綻先債権(2,519百万円)	100.0%
		貸出金以外	
実質破綻先		延滞債権(6,873百万円)	100.0%
破綻懸念先	危険債権(5,516百万円)	貸出金以外	92.22%
要 注 意 先	要管理債権(1,856百万円)	3ヵ月以上延滞債権(651百万円)	76.21%
		貸出条件緩和債権(1,204百万円)	66.43%
正 常 先	正常債権(185,935百万円)		
合 計	197,266百万円	11,249百万円	